

1	公開授業実施日時	2017年7月12日（水） 10:50～11:40
2	場所	京都教育大学附属京都小中学校 7年C組教室
3	対象	7年C組（中学校1年生）28名
4	授業者	西田直記
5	島名	グローバル・ヒストリー
6	単元名	アフリカ州について知ろう～歴史的観点から～
7	関連する教科・領域	社会科 地理的分野
8	単元の目標・ねらい	アフリカ州の多様な地理的・文化的特色や課題を、歴史的な視点からとらえることで、アフリカ州に興味関心を持ち、現代のアフリカ州について考えることができる。
9	グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	アフリカ州を資料などから多角的にとらえ、興味を持つことができる。 ・グローバル社会に生じる課題を理解することができる。 ・グローバル社会の課題を多面的に捉えることができる。
10	単元の評価規準【教科・領域として】	アフリカ州の抱える課題について、その解決策を歴史的な視点を踏まえ、解決策を考えることができる。 アフリカ州の文化の多様性や地理的特色や課題を、資料から読み取ることができる。 アフリカ州の文化の多様性や地理的特色や課題を、歴史的背景をふまえて理解する。
11	単元の評価規準【グローバル・スタディーズとして】	アフリカ州には多様な文化があることを理解し、アフリカ州について親しみをもち、アフリカ州の文化的な特色や課題が歴史的な背景をもとに生まれたことを理解し、異文化を理解し受容しようとする。
12	単元計画	全5時間 第1次 アフリカ州を大観しよう～歴史的な視点から～（本時） 第2次 アフリカ州の国境線に着目して～アフリカ州の植民地化から独立まで～ 第3次 アフリカ州の産業をとらえよう 第4次 現在のアフリカの抱える問題と現状をとらえよう 第5次 アフリカ州について歴史的な視点から説明しよう
13	本時の目標	アフリカ州を資料などから多角的にとらえ、興味を持つことができる。
14	本時の展開	《別紙指導案を参照》
15	グローバル・スタディーズとしての特徴	日本人があまりなじみのないアフリカの文化的地理的特色を、歴史的な背景から見ることで世界史との関わりやアフリカの歴史が世界、また日本に影響をしていることを知ることで、アフリカに親しみをもち、より深く理解する。またアフリカの持つ歴史ある文化の多様性に気づくことで、様々な文化を尊重し、理解しようとする態度を養う。
16	授業者から一言	コーヒー豆やアフリカの音楽など実物に触れることで、なじみのないアフリカを身近に感じることはある程度できたのではないかな。歴史的にも地理的にも広がりがある単元であるので、今後の歴史や他の地理的な単元で本単元での学習をどうつなげていくかが課題である。

## 社会科学習指導案（グローバル：ヒストリー）

指導者 西田直記

1. 「アフリカ州について知ろう～歴史的な視点から～」
2. 日時：2017年7月12日(水) 第3校時 10:50～11:40
3. 場所：本館3階 7年C組教室
4. 生徒：第7学年（中学校第1学年）28名（男子13名，女子15名）
5. 本時の目標
  - ・アフリカ州を資料などから多角的にとらえ、興味を持つことができる。

### 6. 指導計画（全5時間）

第1次 アフリカ州を大観しよう～歴史的な視点から～（本時）

第2次 アフリカ州の国境線に着目して～アフリカ州の植民地化から独立まで～

第3次 アフリカ州の産業をとらえよう

第4次 現在のアフリカの抱える問題と現状をとらえよう

第5次 アフリカ州について歴史的な視点から説明しよう

### 7. 本時の教材について

本時ではアフリカ州について学習する。アフリカ州は生徒にとっても日本人にとっても捉えにくい地域であると言える。それは1つにはアフリカ州がヨーロッパや東アジアや東南アジアの諸地域に比べ、なじみのあまりない地域であるからである。物理的な距離が遠く、また文化的なちがいが大きく、アフリカの文化や生活が個別に紹介されることはあっても、ヨーロッパのスポーツや芸術などの文化が日本の日常に根付いているように、「アフリカの文化」なるものは日本人にとっては遠い存在であり、それ故、生徒にとってもイメージしにくい、ある種ステレオタイプ的な見方になりがちだと考えられる。生徒がアフリカのことにふれる機会がまだあるとしても、エジプトの観光に関する番組や貧しい国に暮らすアフリカの人の旅番組やドキュメンタリーなどだろう。

ただ、アフリカが全体として捉えにくい一番の理由はアフリカ州の多様性にあると言える。アフリカ州は他民族国家であり、宗教や言語も人種も多様である。自然環境も様々である。また6大陸の区分、世界の6つの州の区分ではアフリカ州というカテゴリーに入るが、エジプトなどの北アフリカはイスラム教圏で、サハラ以南の国々とは文化的にも全く異なる地域である。また南アフリカ共和国のように歴史的にヨーロッパの植民地だった歴史の長い国は植民地として、人種的にも白人が多くなり、宗主国の文化を色濃く持っている国も多い。

小学校段階で、アフリカ州の学習は、地理ではいくつかの国名にふれる程度で、歴史にはほとんど登場しない。そのため、おそらく生徒にとっては「貧しい」という漠然としたイメージや断片的な知識があるだけの生徒が多いだろう。歴史の学習では、人類の起こり、古代文明、欧米の発展の植民地化、第二次世界大戦後の世界と戦後の第三世界の独立などを中心とところどころアフリカ州の学習がある。公民の学習では世界情勢のくくりの中で南北問題や紛争地域の学習などで扱う。本時は、地理的分野における世界の諸地域の事前にあたる。歴史を主題としてアフリカ州を見ていくために、アフリカ州の多様な側面に気が付くとともに、現在のアフリカ州のようすが歴史的に様々な背景をもとに形作られていることに気がつくことを狙いとしている。

またグローバル人材育成に関わって、中学校の学習では、地理・歴史・公民で断片的なつながりになりがちで、生徒にとって大きくとらえにくいアフリカ州を歴史的な側面から外観を持たせ、アフリカ州を切り取る多面的な側面について知ること、今のアフリカ州の抱える現状や課題についての理解する助けになると考えられる。

## 8. 本時の展開

分 節	○生徒の学習活動	◆指導者の支援及び留意点
I 着 眼	○6大陸のシルエットクイズ ○アフリカ大陸に属する国を答える。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「アフリカ」とはどんなところだろう</div> ○アフリカについて知っている知識をクラスで交流し、国名や主な自然環境を地図帳で確認する。 ○アフリカに関する写真（スライドショー）や音楽を見たり聞いたりする。	◆既習の自然環境（ナイル川やサハラ砂漠などは）世界地図で確認させる。 ◆直線的な国境線に着目させる。 ◆アフリカの文化について体験し、統計資料からアフリカについての外観をつかむ。
II 分 析	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">アフリカ大陸の特徴を資料から読み取ろう</div> ○アフリカ州に関する資料から、わかったことをまとめる。 ○グループで交流する。 ○そこから考えたことや疑問に思ったことをまとめ、発表する。	◆個人でまとめ、グループで交流する。 ◆アフリカの多様な側面に気づかせる。 人種・宗教・経済的な発展の度合いなど
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">アフリカ州の多様な特色はなぜ生まれてきたのだろう</div> ○アフリカの歴史的な側面について資料から学習する。 ・植民地の歴史	
III 一 般 化	○本時のふりかえりを書く。 ・アフリカとはどんなところだろう。 ・疑問に思ったこと、考えたこと。	◆これからの学習に見通しが持てるように、本時の学習を振り返って書かせる。

## 9. 本時の評価

○アフリカ州を、経済・産業・人種・民族・歴史的な背景など様々な面から、自分なりにイメージを持ってとらえようとしていたか。